



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東  
 コード番号 3963 URL https://www.synchro-food.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 兼 執行役員社長 (氏名) 藤代 真一  
 兼 事業部長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員管理部長 (氏名) 森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,105	54.1	648	135.6	650	134.7	438	145.2
2022年3月期第3四半期	1,366	59.3	275	—	277	—	178	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 438百万円(145.2%) 2022年3月期第3四半期 178百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	16.44	—
2022年3月期第3四半期	6.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,934	3,345	85.0
2022年3月期	3,403	2,871	84.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,344百万円 2022年3月期 2,870百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,760	40.9	730	62.0	730	61.2	511	19.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名) ー 、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	26,893,800株	2022年3月期	26,893,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	201,807株	2022年3月期	292,607株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	26,655,012株	2022年3月期3Q	26,573,128株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、ワクチンの普及等により、社会経済活動を継続する動きも活発になり、経済状況には持ち直しがみられるようになりました。一方、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れリスクや、原料・エネルギーコストの高騰等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、「多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる。」をビジョンとして、新中期経営計画初年度の着実な実行と、リブランディングの推進、の2点を経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,105,508千円(前年同期比54.1%増)、営業利益は648,452千円(同135.6%増)、経常利益は650,106千円(同134.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は438,246千円(同145.2%増)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス1,664,372千円(同70.4%増)、出退店サービス301,122千円(同11.9%増)、その他サービス140,014千円(同16.4%増)であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。なお、当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」「その他事業」の3区分としておりましたが、「その他事業」の主体であった株式会社シンクロ・キャリアは2021年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これに伴い、報告セグメントを「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」の2区分へ変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## (メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店ドットコム」をはじめとした飲食店向けのサービス及び、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店ドットコム」においては、出店開業、改装、業態変更等の動きが上半期に引き続き回復傾向にあったことで、2022年12月末時点における登録ユーザー数が257,359件(前年同期比12.8%増)と順調に増加しております。求人広告においては、経済活動の活発化に伴い、飲食業界の人材採用の動きが加速しており、加えて、新規顧客の開拓や既存顧客の再利用の促進活動等により、売上高が伸長しました。

また、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、4,784社(同3.3%増)と増加しております(注)。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は1,970,582千円(同57.5%増)、セグメント利益は621,293千円(同131.2%増)となりました。

## (M&amp;A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介及び、飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

第2四半期に引き続き、M&A仲介及び居抜き譲渡ともに、売却案件数は高水準を維持しております。M&A仲介においては譲渡時期の後ろ倒しが発生し、成約確定までのリードタイムの長期化が見られるものの、居抜き譲渡は順調に成約しております。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は134,925千円(同20.2%増)、セグメント利益は26,528千円(同268.5%増)となりました。

(注) 2022年12月31日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,800,087千円となり、前連結会計年度末に比べて582,721千円増加しました。主な増加要因は、売上増加による現金及び預金の増加(前連結会計年度末比555,542千円増)等であり、固定資産は134,766千円となり、前連結会計年度末に比べて50,886千円減少しました。主な減少要因は、敷金及び保証金の減少(同43,285千円減)等であり、以上の結果、総資産は3,934,853千円(同531,834千円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は575,120千円となり、前連結会計年度末に比べて57,536千円増加しました。主な増加要因は、契約負債の増加(同37,230千円増)等であり、固定負債は14,281千円となり、前連結会計年度末に比べて83千円増加しました。以上の結果、総負債は589,401千円(同57,619千円増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,345,452千円となり、前連結会計年度末に比べて474,215千円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加(同424,771千円増)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2022年11月14日の「2023年3月期第2四半期決算短信」に公表しました業績予想より修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,087,912	3,643,454
売掛金	101,617	106,176
棚卸資産	550	—
前払費用	32,951	57,611
その他	4,160	3,717
貸倒引当金	△9,826	△10,872
流動資産合計	3,217,366	3,800,087
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	40,536	34,091
工具、器具及び備品（純額）	2,765	5,988
有形固定資産合計	43,302	40,079
無形固定資産		
ソフトウェア	1,439	437
無形固定資産合計	1,439	437
投資その他の資産		
投資有価証券	—	3,981
出資金	300	300
敷金及び保証金	114,611	71,326
繰延税金資産	22,275	15,786
その他	3,723	2,855
投資その他の資産合計	140,910	94,249
固定資産合計	185,652	134,766
資産合計	3,403,018	3,934,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,734	17,341
未払金	41,335	64,641
未払費用	25,625	35,366
契約負債	194,467	231,697
未払法人税等	140,948	152,004
未払消費税等	82,634	67,403
資産除去債務	8,865	—
その他	10,972	6,664
流動負債合計	517,583	575,120
固定負債		
資産除去債務	14,198	14,281
固定負債合計	14,198	14,281
負債合計	531,781	589,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,517	510,517
資本剰余金	498,517	498,517
利益剰余金	2,020,688	2,445,459
自己株式	△159,349	△109,900
株主資本合計	2,870,374	3,344,594
新株予約権	863	858
純資産合計	2,871,237	3,345,452
負債純資産合計	3,403,018	3,934,853

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,366,095	2,105,508
売上原価	194,781	258,233
売上総利益	1,171,314	1,847,275
販売費及び一般管理費	896,138	1,198,823
営業利益	275,176	648,452
営業外収益		
受取利息	34	16
受取配当金	6	6
還付加算金	725	—
助成金収入	800	1,698
施設利用料収入	300	200
営業外収益合計	1,865	1,920
営業外費用		
為替差損	—	266
営業外費用合計	—	266
経常利益	277,041	650,106
特別利益		
新株予約権戻入益	1	5
特別利益合計	1	5
税金等調整前四半期純利益	277,042	650,111
法人税、住民税及び事業税	98,526	205,506
法人税等調整額	△207	6,358
法人税等合計	98,318	211,864
四半期純利益	178,724	438,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,724	438,246



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	178,724	438,246
四半期包括利益	178,724	438,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,724	438,246
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ニコシゴトは清算終了により、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	その他 事業	計		
売上高						
広告及び関連サービス(注4)	1,044,354	—	—	1,044,354	—	1,044,354
マーケティング(注5)	58,244	—	—	58,244	—	58,244
成功報酬(注6)	12,957	112,266	2,418	127,641	—	127,641
その他(注7)	135,739	—	117	135,857	—	135,857
顧客との契約から生じる収益	1,251,296	112,266	2,535	1,366,098	—	1,366,098
外部顧客への売上高	1,251,294	112,266	2,535	1,366,095	—	1,366,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	1,251,296	112,266	2,535	1,366,098	△2	1,366,095
セグメント利益又は損失(△)	268,736	7,198	△2,064	273,871	1,305	275,176
その他項目						
減価償却費(注3)	4,453	319	51	4,824	—	4,824

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&amp;A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,610,620	—	1,610,620	—	1,610,620
マーケティング(注5)	46,469	—	46,469	—	46,469
成功報酬(注6)	61,527	134,925	196,453	—	196,453
その他(注7)	251,966	—	251,966	—	251,966
顧客との契約から生じる収益	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
外部顧客への売上高	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
セグメント利益	621,293	26,528	647,822	630	648,452
その他項目					
減価償却費(注3)	20,650	331	20,981	—	20,981

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&amp;A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」「その他事業」の3区分としておりましたが、「その他事業」の主体であった株式会社シンクロ・キャリアは2021年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これに伴い、報告セグメントを「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」の2区分へ変更しております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。